

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」修学院校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数) 51
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門スタッフによるマンツーマン療育	個別療育は、お子様の成長や変化に気づきやすい環境にあると思います。 成功体験の積み重ねが、お子様の自己肯定感や意欲の向上に繋がるよう、関わり方を心がけています。	担当指導員だけでなく、事業所全体でサポートできることを目指して取り組んでいきます。
2	一人ひとりに合わせたオーダーメイド療育	決まった療育プログラムはありません。 お子様の発達の様子や強み、お困りごと等をもとに、お一人おひとりにあわせて療育を行っています。	より、ご本人理解が進むよう事業所全体でサポートできることを目指して取り組んでいきます。
3	保護者との密なコミュニケーション	保護者様に送迎をお願いしています。 事業所に足を運んでいただくことで、スタッフと顔を合わす機会も増え、相談や情報共有をしやすいという声をいただいています。 また、自由に活動を見学いただくこともできますので、ご本人との関わり方や、成長と一緒に共有いただけます。	より、ご本人理解が進むよう事業所全体でサポートできることを目指して取り組んでいきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スペース不足	活動スペースや待機スペース、面談場所等不足しています。	自校舎内では限界があるため、本社へ要望を出しています。
2	集団活動の場がない	個別療育という療育形態をとっているため	必要であれば、今後検討していきます
3	保護者の会がない	個別療育という療育形態をとっているため	より保護者様の安心感につながると思っていますので、検討していきます

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「きらり」修学院校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

51

回収数 51

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	42	9	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	50	1	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	50	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	50	1	0	0		
適切な 支援 の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	48	3	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	44	4	0	3		
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	50	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	48	2	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	49	1	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	45	4	0	2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	9	22	14		
保護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	50	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	50	0	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	18	1	13		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	50	1	0	0	・スムーズな連携を取っていただけて大変ありがたいです。	引き続き、情報共有を大切に行わせていただきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	51	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	50	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	17	10	22		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	47	1	0	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	49	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	40	7	2	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	49	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	40	4	1	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	36	4	1	10		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	42	6	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38	6	0	7	・事故が起きたことがないため	引き続き安全対策に留意いたします
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	51	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	51	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	50	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」修学院校			公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2			4
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		6	0	法令が必要とされる配置はできている。			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6	0	バリアフリー化はなされている。 必要場所に応じて、記号やイラストを表示している。			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5	1	日々 清掃、消毒、安全確認を行っている。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	1	個別の部屋がある。	・部屋が限られているため、日によってできる日とそうでない日がある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	月1回全体ミーティングを実施。 出勤職員で毎日の打ち合わせを行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0 (無記入1)	事業所評価を実施し、業務改善につなげている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0 (無記入1)	日々の打ち合わせ、月1回のミーティング、年2回以上の個別面談を実施。業務改善につなげている。	・支援の中で疑問に感じたことを、ミーティングで共有できている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1 (無記入2)		現在、第三者機関による外部評価は実施していない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	月1回 法人による研修に参加。 他にも近隣校舎による合同研修に参加。 外部研修（京都市主催など）に参加。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		公表場所については検討中。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	計画期間ごとにモニタリングを実施。 アセスメントを取ったうえで、個別支援計画を作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児発管と担当指導員と内容共有のもと、計画に沿った支援を実施している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	児発管と担当指導員と内容共有のもと、計画に沿った支援を実施している。 また、全体共有を行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	法人で統一したアセスメントシートを使用している。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	4月の段階で説明、個別支援計画に明記させていただいている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3 どちらともいえない (場合による)		・基本的には一人で行っているが、職員間で共有を行う場合もある。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	ご利用者様の状況やその日のご様子により、より良いプログラムとなるよう対応している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	1	5		現在、集団活度は実施していない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	4	出勤職員で打ち合わせを行い、確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	その日のうちに共有しなければならないことがあった際は、随時行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	毎回支援記録を作成している。必要に応じて確認し、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	計画期間ごとに面談を行い、モニタリングを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1 (無記入1)		支援計画に盛り込んでいるが、地域支援についてはどのように取り組んでいくかは課題。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	活動表を確認し、ご本人の考えを確認している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	基本、児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	ご希望をいただいた方については連携を取らせていただいている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0 (無記入1)	必要な情報は共有させていただいている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0 (無記入1)	必要に応じて情報共有させていただいている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	0 (無記入1)	現在該当者なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1 (無記入1)		今年度に関しては、現在実施無し。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		実施していないが、要望があれば検討していく。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0 (無記入2)	児発管が参加している。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	支援中、支援後のフィードバックにおいて情報共有させていただいている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4 (無記入1)		フィードバック時等に、個別では情報提供させていただいているが研修等は行っていない。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時にご説明させていただいている。また、事業所内に掲示させていただいている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	保護者様に個別支援計画を説明させていただき、同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	保護者様から電話や対面で多様な相談をいただくが、丁寧な対応を心がけ、信頼をいただけている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6		保護者会は実施できていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	随時お声がけを行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ライン、ブログ（HP）を使用し、情報発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵付きロッカーにて保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	必要に応じて、絵カードや、書面にて提示している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5 (無記入1)		実施できていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	研修、訓練を実施している。	訓練については実施要項を玄関掲示しているが、認知度は低い。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPを策定している。 月1回、防災訓練を実施している。	訓練については実施要項を玄関掲示しているが、認知度は低い。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	保護者様から情報共有いただいている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	3 (無記入2)	該当児童なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	安全計画を作成し、情報共有を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1 (無記入1)		安全計画を作成し、校舎内掲示を行っているが、認知度は低い。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	事業所内で話し合い、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	全職員が研修を受けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	マニュアルを策定し、研修を実施している。 契約時に説明し、個別支援計画に記載している。		